

行政 トピックス

64年の歳月を越えてしのぶ
尊い犠牲と、平和への祈り

— 南丹市戦没者追悼式 —

10月15日、スプリングスひよし体育館において遺族ら380人が参列の下、「平成21年度南丹市戦没者追悼式」を行いました。

先の大戦の戦禍によって尊い命を犠牲にされた南丹市出身の英霊1,886柱に対して、黙とう。



▲戦没者を追悼し、参列者一人一人が献花



▲追悼の辞を述べる清水隆遺族会会長

佐々木市長による式辞の後、来賓の方々による追悼の辞が述べられました。

南丹市遺族会を代表して、清水隆会長が「終戦から64年の歳月が流れた今でも、最愛の家族を失った悲しみは深く、言葉で言い表せるものではない。戦争の悲惨さと、そこに多くの尊い犠牲があったことを次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に寄与することを誓う」と、戦没者に追悼の誠をささげられました。

最後に、参列者全員が一人一人戦没者をしのびつつ献花を行い、心豊かに暮らせる社会の実現のため、平和への誓いを新たにしました。

かまど跡に生活文化の息吹

— 「大谷口遺跡」現地説明会 —

京都府埋蔵文化財調査研究センターによる大谷口遺跡（八木町諸畑）の現地説明会が9月19日に行われました。府営経営体育成基盤整備（ほ場整備）事業に伴う今回の調査では、古墳時代中期の竪穴式住居跡から造り付けのかまどが出土。近くの諸畑遺跡や室橋遺跡でも同種のかまどが出土しており、朝鮮半島から渡来したと考えられる先進技術が5世紀前半に一带に導入されていたことが明らかになりました。説明会に訪れた周辺住民や考古学ファンは、いにしへの文化に思いをはせていました。



▲調査員によるかまど跡の説明に聞き入る参加者

地元の道をみんなで美しく

— 「^{とんだに}殿谷さわやかロード」
国土交通大臣表彰受賞 —

園部町殿谷の地元住民42人で組織するボランティア団体「殿谷さわやかロード」が、8月の「道路ふれあい月間」における国土交通大臣表彰を受賞。同団体は平成16年に結成以来、地域を通る国道477号や市道、歩道のごみ拾い、草刈り、花壇の整備などに努めてこられました。9月2日、奥村政治代表ら3人が受賞報告に南丹市長室を訪問。「美化作業をするようになってからポイ捨てが減った」と美化意識の高揚につながった活動の効果を話されました。



▲感謝状と盾を披露する奥村代表（右から2人目）